



豊後高田の温泉振興とパーフェクトビーチ構想

斉藤雅樹¹⁾, 河野真一²⁾, 井上重信²⁾

(令和 4 年 12 月 1 日受付, 令和 4 年 12 月 10 日受理)

The Promotion of Hot Springs in Bungotakada and Resort Development, “Perfect Beach Project”

Masaki SAITO¹⁾, Shinichi KAWANO²⁾ and Shigenobu INOUE²⁾

1. はじめに

豊後高田市には 6 箇所の温泉施設があり, 療養泉分類の泉質も単純温泉, 塩化物泉, 炭酸水素塩泉, 硫酸塩泉, 二酸化炭素泉の 5 種類を網羅する。「六郷温泉」と銘打ち, 観光 PR を行っているもの, 「おんせん県おおいた」にあっては周辺に別府, 由布院の巨大温泉地が立地することもあり, 温泉地としての豊後高田は広く知られているとは言えない。

一方で, 市内には山や海などの豊かな自然環境, 国指定重要文化財など多数の寺社に代表される歴史・文化, そして海産物, 蕎麦, 落花生などの食材が豊富にあり, 観光資源の宝庫である。本講演では, この地の優れた地域資源を活用したウェルネスツーリズムとしての温泉地振興, リゾート開発 (パーフェクトビーチ構想) に関して紹介を行う。

2. 温泉の特色と振興

豊後高田の温泉は多様で, 高張性塩化物泉「海門温泉」, 30℃と 24℃の 2 種類の二酸化炭素泉が露天風呂に供される「花いろ温泉」(硬度 1,500 以上), 大分県では希少なカルシウム・ナトリウム—硫酸塩泉の「夷谷温泉」, 開湯 640 年の国東半島最古といわれる「真玉温泉」, 国宝富貴寺に隣接する「旅庵落臺 (ふきのとう)」(以上炭酸水素塩泉), 単純温泉がかけ流される「仙人湯」などが市内に点在する。

従来, この特色ある温泉群のそれぞれの個性を際立たせる観光 PR が十分であったとは言えず周囲にある温泉地との差別化が求められていた。現在では, ホームページや案内パンフレットに各温泉の特色が表現されるようになった。

¹⁾ 東海大学. ¹⁾ Tokai University.

²⁾ 豊後高田市. ²⁾ Bungotakada City Office.

また、2018年に環境省が開始した「新・湯治の効果測定プロジェクト」に豊後高田市と東海大学は共同調査として参画し、2021年までの4年間に合計で全国の9.8%を占める検体数を提供するなど温泉地としての存在感も徐々に増しつつある。

3. 長崎鼻海岸「パーフェクトビーチ構想」を核とするウェルネスツーリズム振興

市の東部に位置する長崎鼻海岸は夏にヒマワリ160万本、春に菜の花2,200万本が開花する「花の岬」として知られる。海水浴場やキャンプ場のある自然公園だが、花の時期や海開き時期以外の観光客が少なく、観光資源を活用しきれていなかった。

そこで、両側に堤に囲まれコンパクトで安全な人工ビーチである長崎鼻海水浴場を新時代の海水浴場コンセプトとして「清潔・安全・快適」な“パーフェクトビーチ”として振興する構想を立て、これを核として、周囲の温泉、健康食材などを活用した総合的な健康づくり拠点をめざすプロジェクト(図1)が2016年に開始された(地方創生推進交付金活用「パーフェクトビーチを核とした里海ヘルスツーリズム計画」)。パーフェクトビーチ構想については東海大学海洋学部に、タラソセラピー分野については(一社)SPALOHAS倶楽部に事業監修や実施が委託された。

この中ではまず、ヨーロッパで人気の海洋療法(タラソセラピー)と温泉療法のノウハウを導入し、この地の資源を新たな着眼点から融合させた豊後高田オリジナルのウェルネスツーリズムの確立を目指した。海辺の環境整備とともに、リラクセーション・アクティビティ・食のメニュー開発

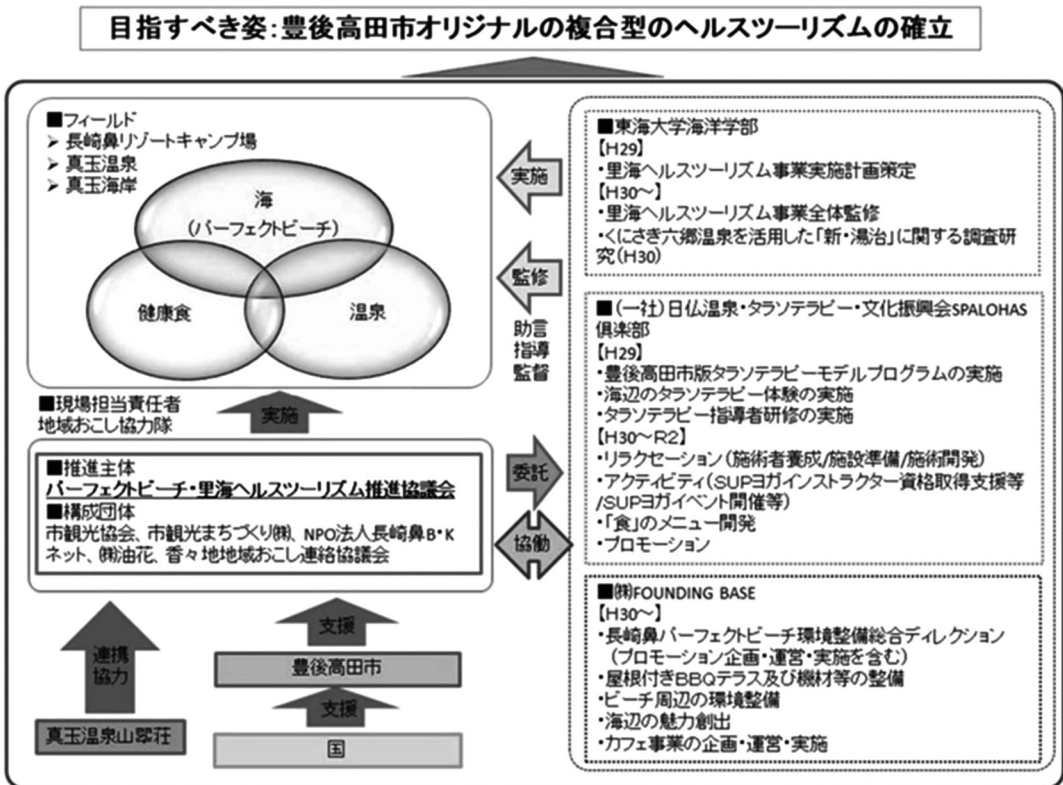


図 1 パーフェクトビーチを核とした里海ヘルスツーリズム計画

に加え、施術者育成や持続可能な運営システム確立などソフトウェア面での充実が心がけられた。特産のヒマワリ油と無農薬カボス精油によるウェルカムトリートメント、サンドウォークやSUPヨガ、地産の健康食ランチなどが人気である。

長崎鼻エリアの来場者数は2020年には過去最高の11万人を超え、事業開始前の2015年と比較し81%増となった。特に、集客力に乏しかった秋期・冬期の観光客が大幅に増加し、一年を通して人の訪れる場所に変貌している。事業収益性も向上し、2020年度の収支実績で黒字となり事業の自走化が実現している。これにより、事業者・地域・利用客のいずれもメリットが享受できる仕組みが実現した。

なお、上記の紹介内容については大会エクスカージョンにて実体験ができる行程を用意している。

引用文献

井上重信（豊後高田市）：地域資源を活用したオリジナルのヘルスツーリズムの確立を目指して、地域づくり表彰2021ウェブサイト（2022年7月18日閲覧）https://www.chiikizukuri.kok.or.jp/past/pdf/oita_2021.pdf.